

佐々木税務会計事務所 標準書式

SSK-G001

現金贈与契約書

標準版

Version 1.0

制定：令和 8 年 8 月

監修：佐々木行政書士事務所

一般公開用・編集可能な Word 標準書式

現金贈与契約書

贈与者(以下「甲」という。)及び受贈者(以下「乙」という。)は、次のとおり贈与契約(以下「本契約」という。)を締結する。

第1条(贈与)

甲は、乙に対し、金 円を無償で贈与し、乙はこれを受諾する。

第2条(履行方法)

甲は、令和 年 月 日までに、前条の金員を、次の乙名義口座へ振り込む方法により交付する。

金融機関名:

支店名:

預金種別:

口座番号:

口座名義:

第3条(帰属及び管理)

前条の振込みが完了した金員は乙に帰属し、乙は自己の財産として管理し、使用し、又は処分する。

第4条(費用)

本契約の締結及び履行に要する振込手数料その他の費用は、甲乙が別途合意したものを除き、甲の負担とする。

第5条(税務上の手続)

甲乙は、本贈与に関して贈与税その他の申告又は届出が必要となる場合、各自の責任において適切に対応する。

第6条(協議事項)

本契約に定めのない事項又は本契約の解釈に疑義が生じた事項については、甲乙が誠実に協議して解決する。

[以下余白]

本契約の成立を証するため、本書 2 通を作成し、甲乙各自署名又は記名押印の上、各 1 通を保有する。

令和 年 月 日

甲(贈与者)	住所： 氏名： Ⓜ
乙(受贈者)	住所： 氏名： Ⓜ

贈与実行確認欄

契約締結日	
振込実行日	
振込金額	
受贈者口座への入金確認	
贈与税申告・届出の確認	

利用上の注意

本書式は、一般的な無償贈与を想定した標準書式です。個別事情により条項の追加・変更、税務申告、登記、会社法上の手続その他の対応が必要となる場合があります。

標準的な利用対象

- ・成人間の一般的な現金贈与（親子、祖父母と成人の孫、夫婦その他）

個別相談を推奨するケース

- ・未成年者・成年被後見人等への贈与
- ・相続時精算課税の初回選択又は多額贈与
- ・複数年分の給付を一括して約束する契約
- ・海外居住者・国外財産・外貨が関係する贈与
- ・債務免除、負担付贈与、法人が関係する取引

版管理

Version	制定・改訂日	内容	監修
1.0	令和 8 年 8 月	初版制定	佐々木行政書士事務所

関連する公的資料

- ・法務局「不動産登記の申請書様式について」（不動産書式）
- ・国税庁「贈与税の申告等」「印紙税額一覧表」
- ・民法、会社法その他の関係法令

実務 MEMO

- ・契約書だけでなく、贈与者口座から受贈者本人名義口座への振込記録を保存してください。
- ・受贈者が通帳、キャッシュカード、暗証番号等を管理し、自由に使用できる実態を整えてください。
- ・毎年贈与する場合は、各年ごとに独立して贈与の合意・実行を行ってください。